

2024 年度業務実績報告書

提出日 2025 年 1 月 12 日

1. 職名・氏名 教授・青木和人
2. 学位 博士(文学)、専門分野 空間情報学、地域政策、オープンデータ
授与機関 立命館大学人文学研究科 授与年 2010 年

3. 教育活動

(1)講義・演習・実験・実習
①担当科目名（単位数） 主たる配当年次等 京都府立大学公共政策学部公共政策学科「情報処理基礎演習」2024 年前期オンライン講義 計 15 回 京都府立大学公共政策学部福祉学科「情報処理基礎演習」2024 年前期オンライン講義 計 15 回
②内容・ねらい この講義では、主に情報リテラシーと Microsoft Office ソフトの活用について解説する。 社会生活の中でインターネットの活用が不可欠である現代において、適切に情報を扱う情報リテラシー能力を身につけることには、極めて重要な意義がある。 情報リテラシーに関しては、以下の 3 点を目標とする。 1.情報機器とインターネットに関する基礎知識を習得する。 2.情報機器を用いたコミュニケーションについて学び、インターネット上のトラブルを未然に防ぐ能力や、SNS 等のツールを効果的に活用する能力を獲得する。 3.検索エンジンや様々なデータベースの活用方法について学び、必要な情報を探し出す能力を獲得する。 また、大学生としての情報処理や研究成果の発表などに不可欠な技術として、Microsoft Office ソフトを用いた演習を行う。 Microsoft Office ソフトの活用に関しては、以下の 3 点を目標とする。 1.Microsoft Word を用いた資料作成能力を獲得する。 2.Microsoft Excel を用いたデータ処理能力や図表の作成能力を獲得する。 3.Microsoft PowerPoint を用いたプレゼンテーション能力を獲得する。
③講義・演習・実験・実習運営上の工夫 課題の作成については基本的に授業内で時間をとるが、時間内に完成しない場合は各自での作成を求める。
(2)その他の教育活動
内容 福井県立大学地域経済研究所 2024 年度第 3 回地域経済研究フォーラム「福井県の行政における生成 AI の活用」、2024 年 9 月 25 日。 武生東高校 研究協議会 地理総合公開授業 コメンテーター、2024 年 10 月 22 日。 福井地理学会講演「地理院地図による GIS・防災学習の実践」、2024 年 11 月 7 日。

4. 研究業績

(1)研究業績の公表
① 著書 青木和人,『ウィキペディアタウン・ハンドブック 図書館・自治体・まちおこし関係者必携』,単著,文学通信,2024年12月25日刊行 【1本】
②学術論文（査読あり） 【 本】
③その他論文（査読なし） 青木和人「地方自治体オープンデータの分野別公開状況」,2024年日本社会情報学会（SSI）全国大会発表論文集,電子版,7ページ. 青木和人「人工衛星画像と AI を用いた自治体業務効率化手法の検討」,第33回地理情報システム学会研究発表大会発表論文集,電子版,4ページ. 【2本】
④学会発表等 青木和人「地方自治体オープンデータの分野別公開状況」,2024年日本社会情報学会（SSI）全国大会発表大会,香川短期大学,2024年9月15日. 青木和人・矢野桂司「人工衛星画像と AI を用いた自治体業務効率化手法の検討」,第33回地理情報システム学会研究発表大会,京都大学(宇治キャンパス) ,2024年10月27日. 【2件】
⑤その他の公表実績 受賞 一般社団法人地理情報システム学会、2024年度学会賞 著作部門、2024年10月26日. 福井県未来創造部 DX 推進課、福井県知事杯ハッカソン 2024、コメンテーター賞、2024年11月1日. 連載原稿 青木 和人「GIS Now! : GIS 最新トピック(第 95 回) open-hinata(1)」,Estrela361,統計情報研究開発センター,pp.30-33,2024年4月. 青木 和人「GIS Now! : GIS 最新トピック (第 96 回) open-hinata(2)」,Estrela362,統計情報研究開発センター,pp.42-45,2024年5月. 青木 和人「GIS Now! : GIS 最新トピック(第 97 回) Stroly」,Estrela363,統計情報研究開発センター,pp.38-41,2024年6月. 青木 和人「GIS Now! : GIS 最新トピック(第 98 回) Stroly(2)」,Estrela364,統計情報研究開発センター,pp.44-47,2024年7月. 青木 和人「GIS Now! : GIS 最新トピック(第 99 回)jSTAT MAP(1)」,Estrela365,統計情報研究開発センター,pp.42-45,2024年8月. 青木 和人「GIS Now! : GIS 最新トピック(第 100 回)jSTAT MAP(2)」,Estrela366,統計情報研究開発センター,pp.48-52,2024年9月. 青木 和人「GIS Now! : GIS 最新トピック(第 101 回)jSTAT MAP(3)」,Estrela367,統計情報研究開発センター,pp.37-41,2024年10月. 青木 和人「GIS Now! : GIS 最新トピック(第 102 回)jSTAT MAP(4)」,Estrela368,統計情報研究開発センター,pp.37-41,2024年11月. 青木 和人「GIS Now! : GIS 最新トピック(第 103 回)jSTAT MAP(5)」,Estrela369,統計情報研究開発センター,pp.40-43,2024年12月. 【11本】

(2)科研費等の競争的資金獲得実績	
学内	
ステップアップ研究支援	
学外	
未来協働プラットフォームふくい推進事業	令和6年度「平成 16 年福井豪雨の被災記憶データジャーナリズムの作成」
未来協働プラットフォームふくい推進事業	令和6年度「自治体「町」の読み方調査フィールドワーク」
未来協働プラットフォームふくい推進事業	令和6年度「子育てママのリスクリング場づくり」
(3)特許等取得	
(4)学会活動等	
学会活動	
第 33 回地理情報システム学会研究発表大会,京都大学(宇治キャンパス)	
企画セッション（シンポジウム）	令和 6 年能登半島地震への応援派遣における GIS 利用の考察，座長，2024 年 10 月 26 日(土) 9:00 ～ 10:40

5. 地域・社会貢献活動

地域連携 新聞記事 福井新聞、2024 年 7 月 4 日.福井豪雨デジタルアーカイブ 福井新聞、2024 年 7 月 8 日.福井豪雨デジタルアーカイブ 福井新聞防災特集版、2024 年 7 月 18 日.福井豪雨デジタルアーカイブ 福井新聞、2024 年 11 月 26 日.ちょうまち大調査プロジェクト TV 取材 NHK 福井、2024 年 7 月 3 日.福井豪雨デジタルアーカイブ https://www3.nhk.or.jp/lnews/fukui/20240703/3050018227.html?fbclid=IwY2xjawG3aU5leHRuA2FlbQIxMQABHda2_63vepGJLfD9P-OzyAkOCGSN1PhAkVcZWlXmkmbXWKPGRGlc-FWnJg_aem_VqM33y_HEtW8kNVPw9wn0Q
--

6. 大学運営への参画

(1)補職
(2)委員会・チーム活動
地域政策学部（仮称）設置プロジェクトチーム委員
(3)学内行事への参加
(4)その他、自発的活動など
学生参加型 福井豪雨デジタルアーカイブプロジェクト 主催 学生参加型 ちょうまち大調査プロジェクト 主催